

2020年(令和2年)7月14日

事業所・施設等 管理者 様

福山市 保健福祉局 長寿社会応援部
介護保険課 事業者指定・指導担当課長

**新型コロナウイルス感染症に係る「第2波に備えての知恵や工夫」
に関する情報提供のお願い**

平素より本市保健福祉行政の推進に御理解と御協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の国内流行が始まってからこれまでの間、事業所・施設等の皆様にあつては、様々な知恵や工夫を凝らし、感染予防・感染拡大防止に御尽力をいただきました。皆様の御協力もあり、市内の感染状況は一定の収束をみているものと考えております。これまでの取組に改めて感謝申し上げます。

さて、感染予防対策の実施にあつては、注意する・周知する等の声掛けや意識付け、心掛けだけでは、利用者や職員の全てに徹底することは困難です。事業所・施設等の皆様にあつては、様々な腐心し御配慮いただき、その徹底についての方策を検討・実施いただいているものと思います。現場において、介護サービスを提供する事業所・施設等の皆様が、様々な知恵や工夫を凝らして行ったこれまでの取組とそこから得られた知見は大変貴重な情報であり、本市の介護サービスの維持・継続に役立つものと考えております。ぜひとも、その知見を事業所・施設等の皆様から発信していただき、高齢者及び介護従事者等の感染症予防対策とコロナ影響下での適切なサービス提供の実現のために活用させていただきたいと考えております。

つきましては、標題の情報提供を依頼するものです。なお、得られた情報は本市ホームページに公開し、共有することを考えております。高齢者の介護を地域全体で支え合うため、積極的な御協力をお願いします。

1 提供いただきたい内容及び提供様式

内容：「第2波に備えての知恵や工夫」情報提供していただきたいこと

様式：新型コロナウイルス感染症に係る「第2波に備えての知恵や工夫」に関する情報提供票

2 提出期限・提出方法

2020年(令和2年)7月31日(金)

FAXまたは郵送により提出してください。送付状等は不要です。

3 本市ホームページへの掲載について

御提供いただいた情報を集約し、編集及び掲載可否の判断をしたうえで、本市ホームページに掲載します。公開する情報について、情報を御提供いただいた事業所・施設等に事前に御連絡は致しかねますので、御了承ください。

福山市 保健福祉局 長寿社会応援部 介護保険課

電 話 084-928-1232

FAX 084-928-1732

「第2波に備えての知恵や工夫」情報提供していただきたいこと

目的

このスキームは、感染対策の実施内容の調査ではありません。知恵や工夫を市全体で共有し、感染予防等に活用することを目的に行うものです。ぜひとも、その知見を事業所・施設等の皆様から発信していただき、高齢者及び介護従事者等の感染症予防対策とコロナ影響下での適切なサービス提供の実現のために活用させていただきたいと考えております。

内容

- この情報提供のお願いは、提出を強制するものではありません。■公開可能な情報を御提供ください。
- 法人等でとりまとめて、1枚の情報提供票を御提出いただいても構いません。
- 成功例だけでなく、失敗例や些細な取組と思われる事例についても、ぜひ御記入ください。
- 組織としての取組だけでなく、通常サービスにひと工夫したことや個人のアイデア等についても、ぜひ御記入ください。
- 次のとおり、工夫したこと、気をつけたこと、失敗したこと等について、具体的な事例を御提供ください。

<具体的な事例の記入例>

工夫したこと	課題の解決方法, そのための工夫 など 事業所内を清潔に保つよう気をつけた。▶ 事業所内を清潔な区域と汚染区域にゾーニングして, 床にカラーテープを貼り, 境界を明確にした。
気をつけたこと	基本的な対策に追加して気をつけたこと, 見落としがちな点についての対策 など 手指消毒を徹底した。▶ 事務仕事の後に, 介助をするときは, 電話機やパソコン等, 感染源になり得る物に触れているので, 必ず手指消毒をしてから介助を行った。
失敗したこと	気をつけようとしたがうまくいかなかったこと, 工夫したがうまくいかなかったこと など 介助に適した衛生用品が見つからなかった。▶ 感染防止のため玄関に除菌マットを敷いたが, 利用者がわずかな段差につまづいてしまった。

記入例

FAX 送信先:084-928-1732
※送付状は不要です。



郵送の場合:720-950-1111 内線2番5号
福山市



提出期限:2021年10月15日

※郵送の場合

新型コロナウイルス感染症に係る「

記名にチェックされた場合、本市ホームページ掲載の際に、事業所・施設・法人名及び電話番号を公開します。どちらにもチェックがない場合は匿名とみなします。

施設／サービスの種別	認知症対応型共同生活介護		
法人／事業所・施設等の名称	グループホームふくやま		
御 担 当 者	東 桜子	電 話 番 号	084-928-1111

工夫したこと

気を付けたこと

失敗したこと

その他感染予防策以外で工夫したこと

知見・事例・取組など	記名・匿名の別
マスクの装着を嫌がる利用者に対して、色々な柄の布マスクを毎週一枚選べるようにして配布したところ、快く着けてくれた。	<input checked="" type="checkbox"/> 記名 <input type="checkbox"/> 匿名
食事提供時、利用者同士が対面しないよう一方向を向き、横の間隔を空けて並んで座ってもらった。	<input checked="" type="checkbox"/> 記名 <input type="checkbox"/> 匿名
進んで手洗いをしてもらえるよう、ドアの取っ手口等よく触る所にばい菌の絵や、「触ったあとは手を洗う！」等のメッセージを貼った。	<input checked="" type="checkbox"/> 記名 <input type="checkbox"/> 匿名
こまめに手指消毒ができるよう、スタッフ1人に1つ持ち歩き用消毒液を配布し、利用者にも使用した。	<input checked="" type="checkbox"/> 記名 <input type="checkbox"/> 匿名
手洗い場にモニターを置いて、正しい手の洗い方の動画を流した。	<input checked="" type="checkbox"/> 記名 <input type="checkbox"/> 匿名
手洗い時、手の汚れをきれいに落とせるよう、家族の同意を得て、手に直接肌にやさしいインクで「これが落ちるまで洗いましょう。」とメッセージを書いた。	<input checked="" type="checkbox"/> 記名 <input type="checkbox"/> 匿名
トイレ介助や入浴介助の際は、手袋等の着用を徹底した。手袋等を外すときは、表面に触れないよう注意した。外した後は必ず手指消毒をした。	<input checked="" type="checkbox"/> 記名 <input type="checkbox"/> 匿名
感染防止のため玄関マットの奥に除菌マットを並べて敷いたが、利用者が玄関マットと除菌マットのすき間につまづいてしまったので、ずれたりすき間ができたりしないように、テープで貼り付けた。	<input type="checkbox"/> 記名 <input checked="" type="checkbox"/> 匿名
入浴介助の際、利用者がシャワーチェアから滑り落ちそうになったので支えようとしたが、ビニール手袋をしていたために滑って支えることが出来なかった。以降はゴム手袋を使用するようにし、同じ事故が起きないようにした。	<input type="checkbox"/> 記名 <input checked="" type="checkbox"/> 匿名
国の臨時的な取扱い第12報による2区分上位の算定について、算定の趣旨と具体的な料金シミュレーションを文書で示した上で直接説明すると、利用者の方に御納得いただけた。	<input type="checkbox"/> 記名 <input checked="" type="checkbox"/> 匿名
デイの利用を中断している利用者に対し、機能低下を防ぐため、自宅でできる機能訓練のメニューをイラスト付きで配布した。裏面にはチェックリストを付け、デイ再開時に実施状況を確認できるようにした。	<input checked="" type="checkbox"/> 記名 <input type="checkbox"/> 匿名